

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年6月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1172300160
法人名	株式会社ニチイ学館
事業所名	ニチイケアガーデン和光みなみ
所在地	〒350-0104 埼玉県和光市南1丁目20番35号 (電話) 048-450-0730
評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月27日

## 【情報提供票より】(平成20年5月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月19日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 4人, 非常勤 13人, 常勤換算 13.2人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨準耐火造り 2階建ての1階～2階一部分
------	--------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	30,975円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (450,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 450 円
	夕食	500 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(5月8日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.6 歳	最低	62 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ねりま大塚クリニック、立川歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、近隣に大きな公園があり、四季折々の樹木を眺めながらの散歩を楽しめる場所にある。2ユニットのホームだが、それぞれ特徴のある居間のつくりになっており、吹き抜けの光をいっぱい感じられる場所や、花壇の花を眺められる場所など、利用者が落ち着いた生活を営めるつくりとなっている。台所はアイランドキッチンとなっており、利用者、職員が3食の食事作りを楽しむことができ、一緒に準備から片付けまでを行う姿が家庭的である。利用者の状態に合わせた、きめの細かいケアが行われており、記録などにも工夫が見られる。地域に助けられるだけでなく、ホーム独自で地域の人たちが楽しめる行事を開催したり、地域の防災訓練に参加をし、災害時には地域の人たちにも手助けが出来るような積極的な地域活動を行っている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) ケアプランの見直しは3か月に1度行われており、状態の変化がある場合には、そのつど見直しが行われている。新しくなったアセスメントの書式もうまく活用されている。また、職員のストレス軽減のための行事も行われている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の意義は、管理者、職員ともにケアの質を上げるチャンスと捉えてはいるが、全員で取り組むには至っていない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 市役所、司法書士、自治会や家族会など、参加者の協力が得られている。毎回の議題についても、町内での防災ルート作りや災害時における地域でのホームの役割などがあがり、活発な意見が交わされ、ホームの運営やケアの質の向上に活かされている。前回の議題についての取り組みの状況も参加者に報告をしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 意見や苦情の窓口については入居時に説明している。また、家族会でも意見や苦情を出してもらいやすいような雰囲気作りを努めており、苦情や意見はホームの財産として受け止め、苦情に対しては迅速に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 開設当初より、地域とのかかわりを大切にしており、回覧板の受け渡し、近隣の店での毎日の買い物など、身近なところから地域に根ざすことに努めている。また、町内会の防災訓練に参加をしたり、地域の高齢者たちが参加できるホームでの行事などを開催したりと、地域での役割も担いながら連携に努めている。

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営母体の理念を柱にしながらも、開設当初より地域との関係性強化に重点を置き、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員はミーティングや会議などで理念に必ず触れ、日々のケアに活かしながら共有している。また、ケアの振り返りにも活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の会員として、会合や地域の防災訓練などに参加をしている。また、ホームでの行事を開催し、地域の人たちにも参加を呼びかけて地域の中に溶け込む努力をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価をケアの質を上げるチャンスと捉え、結果は職員にも伝え、サービスの質の向上に努めているが、自己評価においては全職員で取り組むには至っていない。外部評価は家族や外部の人にも見てもらえるようにホームの玄関に置かれている。		結果をサービスの質の向上に役立ててはいるが、全職員で取り組むことがよりケアの気づきを生むこととなるので、次回からは出来るだけ職員も参加して自己評価を行うことを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、司法書士、自治会、家族など出席者の協力が得られており、毎回の議題について積極的な話し合いが行われている。ホームはこれをもとに、防災ルートの作成や地域での関わりなどに役立ててサービスの向上に活かしている。また、前回の議題についての経過報告も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所が行う研修会などに参加をしたり、報告、連絡、相談などで窓口を訪ねたりすることで、連携を深めるように取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に電話やFAXなどで近況を伝え、面会時には出来るだけ家族と話し合いを持てるように努めている。また、毎月、小遣い帳のコピーを請求書と共に送り、面会の少ない家族には、同時に写真などを送る工夫をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会などで意見を出してもらいやすいような雰囲気作りに努めている。苦情や意見を出してもらうことをホームの財産として、出された意見等には迅速に対応をしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や退職はほとんどないが、新しいスタッフが利用者と早く馴染めるような研修を行ったり、引継ぎの期間を充分に取ったりしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体の研修やミーティングなどでの社内研修を行っている。また、外部研修にも参加をし、職員の資格取得への支援も行っている。参加した職員は、研修内容を全職員が共有できるように報告している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	自治体主催の検討会などに参加し、地域の同業者の見学を受けたりして交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族との十分な話し合いを重ね、本人と一緒にホームに見学に来てもらったり、時には職員が出向いたりしながらサービスの利用に至っている。また、体験入居もっており、そのまま入居に至ったケースもある。</p>		
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>支援する側と捉えるのではなく、人生の先輩として教えてもらう喜びを感じながら、共に支えあう存在として尊重しあえるような関係作りをしている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のケアや会話などで、気付いたことをスタッフ間の情報交換で共有したり、家族などの意見を聞くなどして、本人の意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ全員がアセスメントシートに書き込みを行い、家族などの情報や意見も取り入れながら、より良いケアが出来るように職員全員でモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングを重ねながら3か月おきに見直しをしている。また、体調の変化、状況などに応じて見直しが必要になった場合には、そのつど見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況、あるいは体調の変化に応じて、通院への付き添いや個人的な外出支援など柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の内科医、歯科医の定期的な往診がある。かかりつけ医は入居時に十分家族、本人と話し合いを持ち、利用前のかかりつけ医を受診している利用者もいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時より家族との話し合い、確認などを状態の変化ごとに持つようにしている。また、主治医も含め重度化、終末期医療について話し合いも行っている。ホーム長をはじめ職員全員が終末期のあり方について模索しており、前向きに捉えながら、利用者と家族の希望を出来るだけ取り入れるような努力をしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導、入浴など本人の尊厳を大切にしたケアを職員全員が心掛けている。また、個人情報の保管場所も徹底し、記録などの取り扱いにも注意を払っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの思いを汲み取る努力をしながら、その時の本人の思いに出来るだけ添うように支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の買い物から、準備、配膳、片づけまで、それぞれの能力に応じながら利用者と職員と一緒に食事作りをしている。また、馴染みの食器を使用したりと食事を楽しめるような支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状態により、それぞれの希望に添うような入り方や時間帯などを出来る限り支援している。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活場面の中で利用者の得意なことをお願いしたり、趣味活動を支援したりしながら、楽しみを見い出してもらえるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や食事の買い物、気晴らしのドライブなど戸外に出かけられるように支援をしている。また、ホームの庭のベンチで過ごしてもらうこともある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	声かけや一緒に出かけるなど見守りを重点におき、鍵をかけないケアに取り組んでいる。玄関は夜のみ防犯上の理由で施錠している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設内だけではなく町内の防災訓練にも参加をし、自治会の協力も得られている。マニュアルを作成して、職員間で常に確認し合っている。また、非常食の備蓄もあり、災害時には地域の方にも臨時の避難場所として提供する準備もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分の摂取量の記録をとり、それをもとに職員がバランスの取れた献立を作成し、味付けなども全員で工夫をしている。また、利用者の状態に応じた食事形態もとっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニットの個性に合わせた装飾がなされており、光や風を感じられる居間とアイランドキッチンが癒しの空間となっている。また、廊下にはベンチが設置され、個人の空間としても使用できるような工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の趣味の道具や馴染みの物が置かれていて、住み慣れた部屋作りとなっている。		